



国臨協新潟地区会会報

朱鷺つと

2013年1月発行

第67号

発行者：桑村 良隆(新潟)
編集委員：中村 宏紀(さいがた)
霜田 由美子(西新潟中央)
菅井 めぐ美(新潟)



妙高周辺の山 (撮影 さいがた病院 大木 翔平技師)

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます
新潟地区会の皆さま 今年もよろしくお願いいたします

会長挨拶



国立病院機構新潟病院
臨床検査科
国臨協関信支部新潟地区会
会長 桑村 良隆

新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え会員の皆様には、「今年こそは・・・」と、心新たに決意されたことと存じます。昨年を振り返ると恒例の「今年の漢字」に『金』が選ばれたことはご承知の方も多いと思います。チーム競技での獲得が目立ったロンドンオリンピックの金メダルの数々、932年ぶりに観測された金環日食、その中でもiPS細胞研究で、山中 伸弥京都大学教授のノーベル生理学・医学賞を受賞されたことは難病や治療薬が開発されていない病に苦しんでおられる方々に希望や勇気を与える画期的な発見であり、近い将来このiPS細胞を使った研究で新薬が開発されノーベル賞受賞者が選出されるかもしれません。また、年末には衆議院総選挙が行われ3年余続いた民主党政権が大敗、政治を安定させるには仕方ないと言う消極的な支持が自民党の圧勝繋がったと分析されていますが、マニフェストに示した公約が実行されない事への有権者の反応が現れたものと言われています。新潟地区会も昨年11月3日、研修会・総会を開催し会員皆様のご理解・ご協力をいただき無事終了することが出来ました。新理事2名が加わり地区会の目的である学術の向上と、施設相互の交流、会員の親睦を目的に、事業方針に則り会報誌の年3回発行、交流会の開催、関信支部地区会コーナーへの掲示、研修会・定期総会の開催に向け、公約違反にならないよう会員皆様のご協力を得ながら地区会活動を担当してまいります。

本年も地区会会員にとって幸多い歳でありますよう心より祈念し新年の挨拶いたします。

新潟地区会新旧理事新年のご挨拶



国立病院機構さいがた病院
臨床検査科
国臨協関信支部新潟地区会
新副会長 中村 宏紀

新年明けましておめでとうございます。新潟地区会の皆様に、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

今年度より国臨協関信支部新潟地区会の副会長を担当させて頂く、さいがた病院の中村です。何分不慣れなところも多いと思いますが宜しくお願いいたします。

昨年はロンドンオリンピック開催や、山中教授のノーベル賞受賞でやや明るくなった日本でしたが、原発再稼働や中央道のトンネル崩落事故など身近な問題や不安が越年されました。12月の衆議院議員選挙では予想通り政権交代がなされましたが、ある新聞社が政権交代の大きな理由について世論調査を行ったところ、「新政権を支持」が7%、「元政権に失望」が81%という結果であったそうです。懲罰的な投票で日本は変わるとは思えませんが、時勢に左右されることなく一年を過ごしたいと思います。

新潟地区会は例年のように役員一同、会員の皆様からのご意見・ご要望を積極的に取り入れながら、活発な地区会活動が行われるように努力していきたいと思いますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



国立病院機構新潟病院
臨床検査科
国臨協関信支部新潟地区会
前副会長 赤堀 良道

新年明けましておめでとうございます。新潟地区会の皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

二年間の新潟地区会副会長の任務を、新潟地区会員の皆様のご支援ご協力により、無事終えることができました。会員の皆様に心より感謝も申し上げます。

私事で、任期最後の新潟地区会直前の大事な時期に入院し、皆様にご迷惑とご心配をお掛けしましたことをお詫び致します。現在は日常生活には支障なく普段通りの生活を送っており、今後も皆様と共に新潟地区会のために少しでも貢献できればと思っています。

最後になりましたが、新潟地区会の益々発展と会員のご健康をお祈りも申し上げます。





国立病院機構新潟病院
臨床検査科
国臨協関信支部新潟地区会
新事務局担当 菅井 めぐ美

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆さまにおかれましては健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

このたび事務局理事を担当することになりました。私にこのような大役が務まるのか不安と期待で複雑な心境ではありますが、精一杯務めさせていただきたいと思いますので皆さまご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

私自身文章を作成したり取りまとめたりすることは苦手な分野ではありますが、自分を成長させるよい機会と考え、皆さまの力をお借りし、前年度に負けない活気のある地区会活動になるよう努力したいと思います。

最後になりましたが、皆さまのますますのご健康とご活躍を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



国立病院機構さいがた病院
臨床検査科
国臨協関信支部新潟地区会
前事務局担当 大木 翔平

新年あけましておめでとうございます。

11月の第32回新潟地区定期総会を以って新潟地区会理事を退任する事になりました。平成22年度から2期事務局担当理事を務め、地区会報「朱鷺」とや地区会ポスター作製の最前線で活動させて頂きました。

私が就任する直前に会報名及び地区会のロゴが完成したばかりであり、どのようにこれらを活かすかを考え、菅前会長の下、会報のレベルアップに取り組みました。結果的に写真を多く取り入れることで視覚的に楽しめる物にし、また配信も紙からPDFへと切り替えコスト削減にも繋がりました。また、地区会ポスターも表彰対象となった第39回・第40回国臨協学会では共に準優秀賞と惜しい結果に終わりました。これが唯一の心残りです。第41回学会での飛躍、楽しみにしています。

今後の新潟地区会のさらなる発展を心から期待しています。ありがとうございました。



平成24年度新潟地区会定期総会研修会報告

～「東日本大震災後の静脈血栓塞栓症(エコノミークラス症候群)予防 検診経過とイタリア北部地震の調査結果」を聴講して～



国立病院機構
西新潟中央病院
臨床検査科

内藤 真由美 技師

平成24年11月3日(土)、国立病院機構新潟病院にて第32回新潟地区定期総会・研修会が行われました。多数の参加者のもと来賓として関信ブロックより上条臨床検査専門職、関信支部より浅里支部長、新潟大学より榛沢先生より出席を賜りました。

研修会では、榛沢和彦先生より「東日本大震災後の静脈血栓塞栓症予防検診経過とイタリア北部地震の調査結果」について講演いただきました。

先生は東日本大震災後すぐに被災地に向かい弾性ストッキングを配りエコノミークラス症候群への警告と検査をいち早く被災者に伝えたとのことでした。日本の避難所は固い床に毛布で雑魚寝状態、人口密度が高く食事冷めたものが多い。血栓はそんな身動きがとりにくい環境や水分不足で出来やすいとも話されていました。また諸外国の避難所では簡易ベットが常識になり食事専用のテントや洗面やトイレが独立して設置されてるという話にも、簡易ベッドによりエコノミークラス症候群の発生率が低下するなら日本の避難所も簡易見習わなければいけないと感じました。

その他にも8年前に起きた中越地震、震災直後から現在までのエコノミークラス症候群のフォローアップ検診のお話を聞かせていただきました。8年たった今でもフォローアップが必要だということ、そして検診に人手が足りていないことを聞き、ぜひ来年は私も検診に参加してみたいとおもいました。

最後になりましたが、忙しい中講演いただいた榛沢先生、上条臨床検査専門職、浅里支部長、ならびに研修会を企画開催してくださいました新潟地区会の皆様に厚くお礼申し上げます。



医療ミス？の話

国立病院機構さいがた病院
中村 宏紀 副技師長

私が東京に住んでいた10年ほど前、友人が愛犬の血液検査の結果について質問をしてきた。友人は私が臨床検査技師であることを知っていて聞いてきたのだと思う。その内容は、「かかりつけの動物病院で、愛犬の健康診断を受けたが、血液検査で肝臓が悪いと言われ、投薬を受け食事制限もしている。でも食欲はあるし、普段と変わらない、検査結果を見てほしい・・・」。

そこで、血液検査の結果を見せてもらった。犬の生化学検査の基準値は人間とあまり変わらない。そして検査結果を見て、なるほど・・・と思った。TP (11.5g/dl)、ALB (6g/dl)、AST (1100IU/l)、ALT (100IU/l)、Na (140mmol/l) K (7.5mmol/l) Cl (110mmol/l)、他は腎機能正常、血算正常・・・すべての結果は思い出せないが、おおよそそのようなデータだったと思う。臨床検査技師ならだれでも「溶血した血清で測定した、それもかなりの溶血」と考えるだろう・・・。

検査結果には血清情報が記載されていなかったが、私は友人に「きっと検体が溶血していたのだと思う。その動物病院に行って再検査をしたほうがいいよ」とアドバイスした。私の目の前にはカリウムが(7.5mmol/l)の柴犬が人懐こく元気にしっぽを振っていた。翌日友人は動物病院に行って獣医師に事情を説明し、再度愛犬の血液検査を行った。もちろん、投薬も中止してもらった。

数日後、再検査の結果説明を受けた。獣医師から、「結果はすべて基準値内であり、やはり溶血した血清で測定していた」と説明された。しかも、検査を請け負った検査業者(その病院の検体検査は外部委託)は、受託した生化学検体をその日に処理できなかった場合、遠心分離もしないで全血で凍結保管し、翌日解凍後に遠心分離・測定していたらしい、というのだ。我々の検査では絶対と言っていいほどありえないことである。

人間においてカリウムが(7.5mmol/l)にもなっていたら、心停止や重篤な外傷など生命に直結するデータであるが、犬は平気なのだろうか？友人は、これ以降その動物病院に行かなくなった。



カリウムが7.5mmol/lの柴犬（当時）

今年の抱負

西新潟中央病院

- ・ 職責をしっかりと果たしていく M. M
- ・ 去年は元旦早々変形性膝関節症になりました。もういい年なんだから・・・と言われながらも今年は薬を飲みだましだまし、目指せフルマラソン完走！！ K. T
- ・ 体重を減らす N. Y
- ・ 1. 健康の維持 2. 周りに気配り 3. 口癖「チッ」をやめる
- 4. 「負荷は、次への第一歩」 H. F
- ・ 今年も事故の無いよう慎重に鏡頭を行いたい。
家では、燻製作りに挑戦したいです。 T. M
- ・ 体を鍛える M. T
- ・ 部屋の掃除をまめにする Y. S
- ・ バックで駐車ができるようになりたい M. N
- ・ 身体壊さず、健康第一で日々過ごしていきたいです。 A. K



新潟病院

- ・ ことしこそ ことしこそはで くれるとし
- ・ なみかぜも いつものようにと ころがけ
- ・ 変革を 求めぬ者には 明日はなし
- ・ すべきこと あとでやろうは 馬鹿野郎
- ・ 一つずつ しっかりこなし 信頼感
- ・ 減らしたい お腹のたるみと ストレスを
- ・ 意識する 今を見る目と 先読む心

スネークアイ
りんごっこ
変革＝創造的破壊だそうです
やっぱり結果が全てですね。マキコさん・・・
にゃんたん
ストレス太り
石の上にも三年よ

ここに掲載した猫
ちゃんは新潟病院
渡部弘美技師の飼
い猫です。かわい
いですね・・・
事務局では動物や
風景写真などを募
集中です

さいがた病院

- ・ 杭州飯店（燕市）の中華そばを食べてみたいです
- ・ 富士山の頂上まで登りたいです
- ・ 禁煙したいです
- ・ バイクを買いたい乗りたい
- ・ トラブルの無いように平穏無事に
- ・ 海外旅行に初チャレンジしたい
- ・ 信頼回復

りり子
六連星
ELLE
アグスタ
D-BACK100
方向オンチ
巳年

今年の活動予定

- ・ 理事会の開催（年3回） 第1回は12月7日に終了
- ・ 地区交流会開催
- ・ 関信支部学会ポスター作成
- ・ 朱鷺つとの発行（年3回）
- ・ 第33回新潟地区会定期総会・研修会の開催



事務局より

新潟地区会の皆さま あけましておめでとうございます
大寒も過ぎます寒さも絶頂期にはありますが、皆さま
体調はくずされていませんか
去年は大雪で家から来るのも帰るのも大変な思いをしまし
たが、今年はなんとか落ち着いてほしいと願っています
けれどもこの雪もスキーやそり遊びなど、おおいに楽し
んで憂鬱な気分をふきとばして元気に過ごしたいと思います
皆さま今年もよろしくお願いします！（M. S）

新潟地区会事務局
NHO新潟病院臨床検査科内
TEL：0257-22-2126（内線3352）